



ホッピーだより No. 431

2020 年 10 月 1 日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook([@HobetsuMuseum](https://www.facebook.com/HobetsuMuseum))

カムイサウルス むかわ町天然記念物指定



HMG-1219; カムイサウルス・ジャポニクス（通称むかわ竜）が 2020 年 8 月 27 日付でむかわ町天然記念物（むかわ町文化財番号 第 11 号）に指定されました。むかわ町天然記念物の指定は 2017 年 4 月 1 日以来で、穂別博物館所蔵の天然記念物（むかわ町指定と北海道指定）は計 9 点になりました。

最近クリーニングされたウミガメ化石



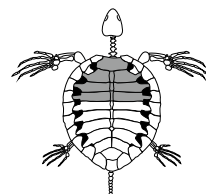
HMG-1534。むかわ町穂別、蝦夷層群函淵層産。
えぞそうぐんはこぶちそう

2009 年 8 月 25 日に西村智弘普及員（当時）が発見したウミガメ化石のクリーニングが終了しました。60 cm ほどのノジュールに入っており、一度に運べない大きさでしたが、化石として取り出されたの部位はそれほど多くありませんでした。産出したのは内腹甲、肩甲骨、腹甲と複数の背甲です。全身復元されているメソダーモケリスの標本と同じぐらいの大きさなので、全長は約 1 m 程度だと推測されます。この化石は中村正彦学芸補助員が 2 ヶ月間でクリーニングをしました。

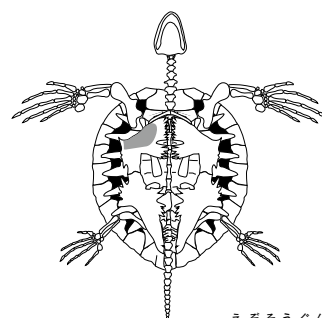


HMG-2011、左：背側観、右：腹側観。むかわ町穂別、蝦夷層群函淵層産。

2011年に西村智弘普及員が採集した標本のクリーニングが終了しました。背甲の前方部が生きていた時と同じ状態で関節したまま産出しました。露頭（地層）から採集された標本で、背中側を上にした状態で産出しました。この化石は中村正彦学芸補助員が2週間でクリーニングをしました。



HMG-2011の産出部位
(灰色)



HMG-2012と産出した部位（灰色）。2013年のカムイサウルス発掘時に採集したウミガメ化石。むかわ町穂別、蝦夷層群函淵層産。

カムイサウルス産地から産出したウミガメ化石のクリーニングが終了しました。産出した部位は腹甲の一部と背甲(?)です。部分的にしか産出しませんでした。腹甲のサイズはこれまでに見つかっているものよりもかなり大きく、全身復元されているメソダーモケリス標本の3倍ほどの大きさです。この化石は村上隆ボランティアが2ヵ月間でクリーニングをしました。

学芸員 西村智弘、館長 櫻井和彦



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2020年10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休館日 〇 町民無料観覧日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一度に観覧できる観覧者の上限は40名とし、混雑時には入場制限を行う場合がありますので、ご了承ください。